

鯖江市地域防災計画（案）に関するパブリックコメントにおける意見一覧

No	意見要旨	鯖江市の考え方
1	<p>計画案において災害時における中間支援組織との連携と書いてあるが、現状福井県内に中間支援組織はないが、どのように連携していくのか。</p>	<p>ご指摘のとおり、福井県には災害中間支援組織はございません。従って、鯖江市で大規模な災害があった場合、全国災害ボランティア支援団体ネットワークや県外の災害中間支援組織と連携をすることを想定しております。実際に、県外の災害中間支援組織が石川県で支援を実施した実例があります。</p>
2	<p>能登半島地震後に災害ボランティアセンターを運営する社会福祉協議会の職員が大量に離職して運営が厳しい状況と聞いております。同協議会だけに同センターの運営をさせるのではなく、市職員も加わり負担の軽減を図るべきだと思います。</p>	<p>鯖江市災害ボランティアセンターの運営については、鯖江市災害ボランティアセンター連絡会が行うこととしており、鯖江市社会福祉協議会および鯖江市が事務局となり、NPO法人団体や社会福祉関係団体等11の団体で構成され、官民連携で運営していく体制となっております。しかしながら、災害時には業務過多になることも十分考えられるので、他行政機関などからの受援体制の構築を進めております。</p>
3	<p>市職員が辞職しないように、災害時に市役所内に職員向けのカウンセラーの配置などをしたほうがいいのかと思います。</p>	<p>鯖江市では産業医を選任しており、職員の身体面の健康管理だけでなくメンタルヘルスの相談にも対応しているほか、公認心理師等を配置し心理面の専門的な相談体制を整えております。災害発生時には業務増加などで心の不調を訴える職員が出ることも想定されますので、産業医や公認心理師等と連携し、職員の心のケアにしっかり取り組んでまいります。</p>
4	<p>日頃から技術系ボランティアや災害支援に関わってるボランティア団体との顔の見える付き合いをしていき、有事の際には連携して支援が出来る体制を構築するべきではないかと強く提言します。静岡県をはじめさまざま県などで行っているの鯖江市も取り組んでみてはどうでしょうか。</p>	<p>鯖江市災害ボランティアセンター連絡会では、構成団体相互間の情報交換や協力関係の促進を図るため、毎年、研修会等の活動を行っております。</p> <p>市としましても、鯖江市災害ボランティアセンター連絡会を中心に、災害中間支援組織と情報を密にとることにより、災害支援に関わるボランティア団体と関係性を構築できるよう研究を進めて参ります。</p>